

報道関係 各位

【発行のご案内】

明日の国際保健医療協力 magazine

最新号 『NEWSLETTER』 vol.22/2025**特集：JIHS 始動****-健康危機に挑む国際医療協力局の次なる一歩-**

国立健康危機管理研究機構（JIHS）国際医療協力局は、“明日の国際保健医療協力 magazine”の最新号として『NEWSLETTER』 vol.22/2025 を発行しました。

『NEWSLETTER』は、グローバルヘルス、国際保健医療協力の潮流やキーワード、国際医療協力局の活動のご紹介を通じて、グローバルヘルスと国際保健医療協力の実際についてご理解をいただく広報誌です。2010 年の創刊以来、今回で通算第 41 号の発行となります。

2025 年 4 月、国立国際医療研究センター（NCGM）は、国立感染症研究所と統合し、「国立健康危機管理研究機構（JIHS）」として新たな歩みを進めています。今号では「JIHS 始動-健康危機に挑む国際医療協力局の次なる一歩-」を特集してお届けします。



<コンテンツ>

◆JIHS 始動 危機管理に挑む国際医療協力局の次なる一歩

国際医療協力局：蜂矢正彦／JIHS 広報管理部（元 NHK「ニュースウォッチ 9」キャスター：河野憲治

◆研究論文紹介 ザンビア共和国におけるコレラアウトブレイク対応の知見が論文になりました

国際医療協力局：法月正太郎

◆国際医療協力局 OB/OG のいま

医師・元国際医療協力局 運営企画部長：明石秀親

◆国際医療協力局 GLOBAL PROJECT MAP

現在 7 カ国 14 名の活動紹介

◆世界の味さんぽ：セネガル共和国「マフェ」



※『NEWS LETTER』のバックナンバーは、下記のウェブサイトから全てダウンロードできます。



<http://kyokuhp.jihs.go.jp/library/newsletter/index.html>

【国立健康危機管理研究機構（JIHS）国際医療協力局について】

JIHS 国際医療協力局は、グローバルヘルス分野における専門機関として 1986 年に発足し、今年で 39 年を迎えます。その間、世界 26 か国に局員を派遣し、さまざまな国際保健医療活動を行ってきました。さらに国際協力の経験を活かし、日本国内での災害・復興支援や感染症アウトブレイク対応、在住外国人支援等にも取り組んでいます。国際医療協力局ではホームページ等を通じて、各種情報を発信しています。詳しくは下記サイト等をご参照下さい。



<https://kyokuhp.jihs.go.jp>

★報道関係の皆さまからのお問い合わせ先

国立健康危機管理研究機構（JIHS）国際医療協力局 広報情報課 山田 広恵

TEL：090-1051-8764 E-mail：koho@jihs.go.jp